

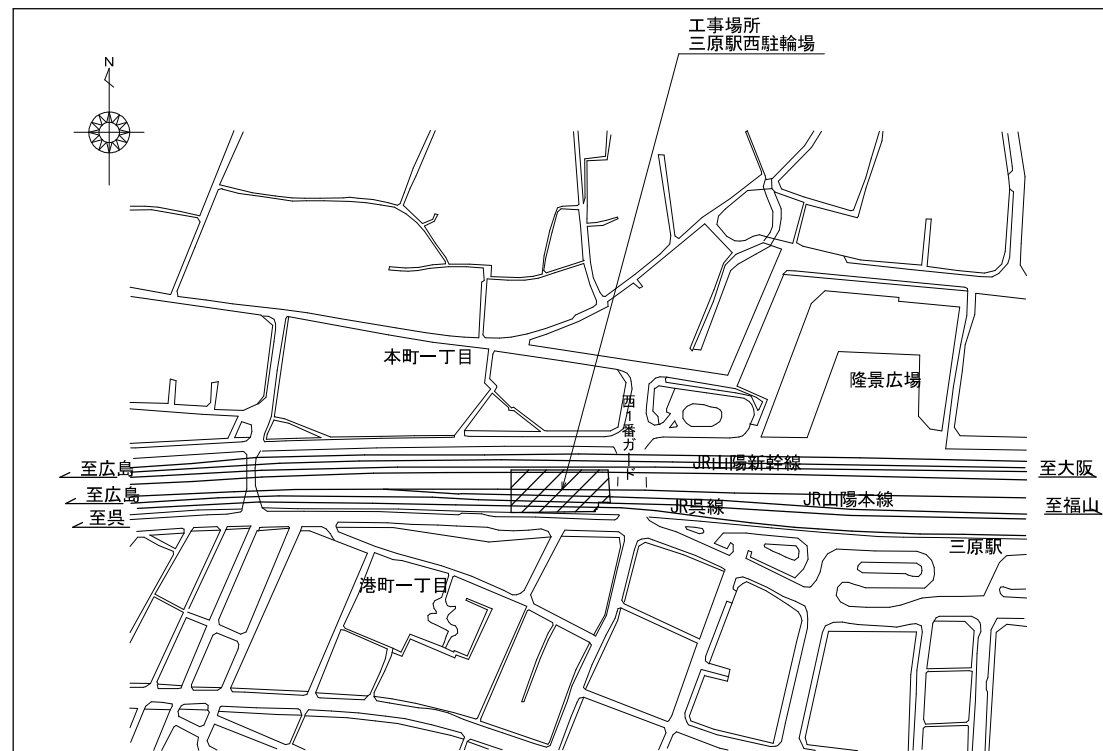
# 特記仕様書

工事名称	三原駅西駐輪場外壁等改修工事
工事場所	三原市港町一丁目
建物概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・構造 : 鉄骨造2階建て</li><li>・床面積 : 2,523.14㎡</li><li>・用途 : 駐輪場</li></ul>
工事内容	次のとおり、駅西駐輪場について、外壁及び屋根等の改修工事を行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・外壁劣化改修工事</li><li>・屋根塗装改修工事</li><li>・附帯工事</li></ul>
関係法令等	公共建築工事標準仕様書(平成31年版)、公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)、建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)に基づき施工する。  本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none"><li>・建築基準法, 同施行令, 同施行規則</li><li>・消防法, 同施行令</li><li>・建設業法, 同施行令, 同施行規則</li><li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則</li><li>・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則</li><li>・建設工事公衆災害防止対策要綱</li><li>・石綿障害予防規則</li><li>・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法</li><li>・その他関係法令</li></ul>
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監督員と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工期	本工事は請負契約締結の後、令和4年3月24日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。</li><li>・本工事は、駐輪場を使用しながら実施するものであり、利用者の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。</li><li>・駐輪場の利用者への支障を最小限に留めるため、工事工程及び作業手順等は最大限配慮すること。</li><li>・騒音、振動及び粉塵等については、十分な対策に努め、また施工方法も配慮すること。</li><li>・工事用出入り口には誘導員を随時配置すること。</li><li>・工事期間中は付近の交通安全を図ると共に、必要な場合には交通整理誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。</li></ul>

- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・台風等の強風が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむ等の対策を施すこと。
- ・交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行なうこと。
- ・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。
- ・また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- ・施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所管庁へ提出すること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。

# 三原駅西駐輪場外壁等改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	タイトル、図面リスト、付近見取図		A-11	立面図	1/200
A-02	建築改修工事特記仕様書（1）		A-12	矩計図	1/30
A-03	建築改修工事特記仕様書（2）		A-13	仮設計画図（参考図）	1/200
A-04	建築改修工事特記仕様書（3）				
A-05	建築改修工事特記仕様書（4）				
A-06	建築改修工事特記仕様書（5）				
A-07	外壁改修工事特記仕様書（1）				
A-08	外壁改修工事特記仕様書（2）				
A-09	配置図、1階平面図	1/200			
A-10	2階平面図	1/200			



付近見取図

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号 <b>岡田建築設計事務所</b> 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	P.L.		2021. 10.		



1 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3] 騒音・粉じん等の対策 ・防音パネル ・防音シート [2.2.1] [表2.2.1] 足場等 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の積立等に関する基準」における(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

(品質・性能) 分類・規格 実業系パネルI類(寒冷地仕様) ・実業系パネルII類(一般地仕様) ・金属複合板 寸法(mm) 厚さ(mm) 幅(mm)

(試験方法) (1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の高さを0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとす。

屋根露出防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

改質アスファルトシート防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

改質アスファルトシート防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

7 塗膜防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

8 シーリング シーリングの施工方法の種類 ※シーリング充填工法

9 とい 防水工法の種類 工法 種別 施工箇所 備考

10 アルミニウム設置 防水工法の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反 射率の防 水の適用 備考

特記事項 訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB. NO. DATE SCALE TITLE 三原駅西駐輪場外壁等改修工事 NO. 図面縮小率

<div data-bbox="118 90 163 294">4-1-1 外壁改修工事</div> <div data-bbox="118 304 163 451">共通事項</div>	<div data-bbox="178 90 296 294">1 ポリマーセメントモルタル</div>	<div data-bbox="296 90 727 294"> <p>(品質・性能) [4. 2. 2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>だれ</td> <td>下がり量 (mm) 5以内</td> </tr> <tr> <td>表面の状態</td> <td>ひび割れの発生が無いこと。</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>6.0以上</td> </tr> <tr> <td>圧縮強さ (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>20.0以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 低温時 0.5以上</td> </tr> <tr> <td>透水性</td> <td>裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	品質・性能	だれ	下がり量 (mm) 5以内	表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	6.0以上	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	20.0以上	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 低温時 0.5以上	透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	<div data-bbox="742 90 786 294">4-1-2 外壁改修工事</div> <div data-bbox="742 304 786 451">コンクリート打直し(仕上げ外壁)</div>	<div data-bbox="801 90 875 294">1 ひび割れ部改修工法</div> <div data-bbox="801 304 875 451">2 ※ 充填工法</div>	<div data-bbox="890 90 1335 294"> <p>※ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>200-300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上1.0未満</td> <td>50-100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上1.0未満</td> <td>100-200</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形        注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う        コア抜き取りの場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個        コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示        ・ ひび割れ部の遮断工法 ※ シーリング材        ・ 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない        ※ 可とう性エポキシ樹脂        ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> </div>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m <sup>2</sup> )	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200-300	※40	※ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	50-100	※40	※ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	100-200	※70	<div data-bbox="1350 90 1394 294">4-1-3 外壁改修工事</div> <div data-bbox="1350 304 1394 451">モルタル塗仕上げ外壁</div>	<div data-bbox="801 462 875 504">2 ※ 充填工法</div>	<div data-bbox="890 462 1335 504">4-1-4 [4. 2. 2][4. 3. 7]</div>	<div data-bbox="801 514 875 556">1 ひび割れ部改修工法</div> <div data-bbox="801 567 875 651">2 欠損部改修工法</div> <div data-bbox="801 661 875 703">3 浮き部改修工法</div> <div data-bbox="801 714 875 756">4 外壁複合改修構工法</div>	<div data-bbox="890 462 1335 504">[4. 1. 4] [4. 2. 2][4. 4. 5-7]</div> <div data-bbox="890 514 1335 556">[4. 1. 4] [4. 2. 2][4. 4. 8, 9]</div> <div data-bbox="890 567 1335 609">[4. 1. 4] [4. 2. 2][4. 4. 10-15]</div> <div data-bbox="890 619 1335 661">[4. 1. 4] [4. 2. 2]</div>	<div data-bbox="1350 462 1394 504">4-1-4 外壁改修工事</div> <div data-bbox="1350 514 1394 661">タイル張替え工法用材料</div> <div data-bbox="1350 672 1394 714">2 ひび割れ部改修工法</div> <div data-bbox="1350 724 1394 766">3 欠損部改修工法</div> <div data-bbox="1350 777 1394 819">4 浮き部改修工法</div> <div data-bbox="1350 829 1394 871">5 目地改修工法</div> <div data-bbox="1350 882 1394 924">6 外壁複合改修構工法</div>	<div data-bbox="1424 90 1944 294"> <p>タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリマーセメントモルタル</li> <li>・ JIS A 5571による一液反応硬化系変成シリコン樹脂系</li> <li>・ JIS A 5571による一液反応硬化系シリコン樹脂系</li> </ul> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法</th> <th>裏面材料</th> <th>吸水率</th> <th>吸水率による区分</th> <th>吸水率</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐凍害性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開口部</td> <td>縦筋</td> <td>1種</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅱ類</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐凍害性: JIS A 1509-42 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐凍害試験方法) で規定する C. S. R値は0.4~1.0とする。</p> <p>耐候性使用箇所        内装 出隅 天端        外装 出隅、窓台、マグサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする)</p> </div> <div data-bbox="1424 304 1944 451"> <p>※ タイルを撤去して改修</p> <p>下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打直し) による</p> <p>モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</p> <p>タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による</p> <p>・ タイルを撤去しないで改修</p> <p>※ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>200-300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上1.0未満</td> <td>50-100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上1.0未満</td> <td>100-200</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形        注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う        コア抜き取りの場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個        コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示        ・ ひび割れ部の遮断工法 ※ シーリング材        ・ 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない        ※ 可とう性エポキシ樹脂        ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> </div> <div data-bbox="1424 462 1944 504"> <p>4-1-5 外壁改修工事</p> <p>タイル張り仕上げ外壁</p> </div> <div data-bbox="1424 514 1944 661"> <p>4-1-4 [4. 2. 2] [4. 5. 6]</p> </div>	施工箇所	形状/寸法	裏面材料	吸水率	吸水率による区分	吸水率	色	耐凍害性	耐凍害性	耐凍害性	耐凍害性	開口部	縦筋	1種	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m <sup>2</sup> )	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200-300	※40	※ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	50-100	※40	※ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	100-200	※70	<div data-bbox="1958 90 2003 294">4-1-6 外壁改修工事</div> <div data-bbox="1958 304 2003 451">タイル張り仕上げ外壁</div>	<div data-bbox="2018 90 2092 294">1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</div> <div data-bbox="2018 304 2092 346">2 下地調整材</div> <div data-bbox="2018 357 2092 399">3 仕上げ塗材</div>	<div data-bbox="2107 90 2789 294"> <p>[4. 6. 2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>吐出圧力 ・ 30MPa~50MPa        ・ 50MPa~100MPa        ・ 100MPa以上</p> <p>・ 塗膜はく離剥工法        ・ 水洗工法</p> <p>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</p> <p>石粉含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による</p> </div> <div data-bbox="2107 304 2789 451"> <p>[4. 6. 3]</p> <p>※ 下地調整材 ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 6. 5] [表 4. 2. 4]</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規制対象外</li> </ul> <p>仕上げ塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 外装薄塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ 厚付け仕上げ塗材</td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 化粧仕上げ塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td>滑層 ※ 水系 層層 ※ アクリル系 外装 ※ つやあり</td> <td>※ 耐候形 3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 厚付け仕上げ塗材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>軽質量塗料は塗料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="2107 462 2789 504"> <p>[4. 1. 5] [4. 7. 2] [表 4. 7. 1]</p> </div>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 図示	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 図示	呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料	※ 外装薄塗材 E			・ 適用する	・ 適用する	・ 厚付け仕上げ塗材			・ 適用する	・ 適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料	※ 複層塗材 E			滑層 ※ 水系 層層 ※ アクリル系 外装 ※ つやあり	※ 耐候形 3種		・ 厚付け仕上げ塗材						呼び名	防火材料			<div data-bbox="2107 462 2181 504">4 マスチック塗材塗り</div> <div data-bbox="2107 514 2181 556">5 外壁用塗膜防護防水材塗り</div>	<div data-bbox="2196 462 2789 504">[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表 4. 2. 6]</div>
		項目	品質・性能																																																																																																																																		
	だれ	下がり量 (mm) 5以内																																																																																																																																			
	表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。																																																																																																																																			
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	6.0以上																																																																																																																																				
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	20.0以上																																																																																																																																				
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 低温時 0.5以上																																																																																																																																				
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。																																																																																																																																				
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m <sup>2</sup> )																																																																																																																																		
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200-300	※40																																																																																																																																		
※ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	50-100	※40																																																																																																																																		
※ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	100-200	※70																																																																																																																																		
施工箇所	形状/寸法	裏面材料	吸水率	吸水率による区分	吸水率	色	耐凍害性	耐凍害性	耐凍害性	耐凍害性																																																																																																																											
開口部	縦筋	1種	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類																																																																																																																											
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m <sup>2</sup> )																																																																																																																																		
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200-300	※40																																																																																																																																		
※ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	50-100	※40																																																																																																																																		
※ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上1.0未満	100-200	※70																																																																																																																																		
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																			
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 図示																																																																																																																																			
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 図示																																																																																																																																			
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																	
※ 外装薄塗材 E			・ 適用する	・ 適用する																																																																																																																																	
・ 厚付け仕上げ塗材			・ 適用する	・ 適用する																																																																																																																																	
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																
※ 複層塗材 E			滑層 ※ 水系 層層 ※ アクリル系 外装 ※ つやあり	※ 耐候形 3種																																																																																																																																	
・ 厚付け仕上げ塗材																																																																																																																																					
呼び名	防火材料																																																																																																																																				
<div data-bbox="118 1858 727 1984">特記事項</div>	<div data-bbox="742 1858 1335 1984">訂正事項</div>	<div data-bbox="1424 1858 1944 1984"> <p>JOB. NO. DATE SCALE TITLE</p> <p>CH. P.L. DR. NAME</p> </div>		<div data-bbox="1958 1858 2092 1984">NO. A/04</div>	<div data-bbox="2107 1858 2789 1984"> <p>図面縮小率</p> <p>A-2: 100%</p> <p>A-3: 71%</p> <p>A-4: 50%</p> </div>																																																																																																																																
		<div data-bbox="1424 1995 2789 2058"> <p>一級建築士事務所 岡田建築設計事務所</p> <p>一級建築士 第102449号 岡田文夫</p> </div>																																																																																																																																			

18	合成樹脂塗床	[ 6. 10. 2. 3 ]			
		種類	施工箇所	工法	仕上りの種類
19	防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造者の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りとは2回塗りとし、総塗布量は0. 25kg/m <sup>2</sup> 以上とする 仕上りの種類 ( ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ) ( ※ 標準色 ) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外			
		種類	施工箇所	工法	仕上りの種類
20	フローリング張り	[ 6. 11. 2~6 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
21	畳敷き	[ 6. 12. 2 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
22	せつこうボードその他ボード及び合板張り	[ 6. 13. 2. 3 ]			
		種類	JISの記号	厚さ (mm)	規格等

23	壁紙張り	[ 6. 14. 2. 3 ]			
		種類	施工箇所	壁紙の種類	防火性能
24	モルタル塗り	[ 6. 15. 3. 6 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
25	タイル張り	[ 6. 16. 2~4 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)

26	セムレバリング材塗り	[ 7. 1. 3 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
27	材料	[ 7. 1. 3 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
28	下地調整	[ 7. 2. 1~7 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)

29	仕上げ塗料塗り	[ 7. 3. 2. 3 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
30	塗装の種類	[ 7. 4. 2~7, 14. 2 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
31	石綿含有建材の除去工事	[ 9. 1. 1, 3~5 ]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

# 岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE
CH.	P.L.	DR.	NAME

NO.	図面縮小率
A	A-2 : 100%
05	A-3 : 71%
	A-4 : 50%

三原駅西駐輪場外壁等改修工事	建築改修工事特記仕様書 (4)
----------------	-----------------





名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理	
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前	改修後				
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量: 817㎡		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( ) ひび割れ幅 0.5~1.0mm 4-1号棟4.0m ( ) ひび割れ幅 0.5~1.0mm 4-2号棟3.0m ( ) ( )内は挙動ひび割れ数量を示す	
記号・仕様		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上	
改修前	改修後				
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量: 2.701㎡		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: m	
記号・仕様		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2~1.0mm			
改修前	改修後				
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: m			

名称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理	
改修前	改修後				
工程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( ) ひび割れ幅 0.5~1.0mm ( ) ( )内は挙動ひび割れ数量を示す		①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、⑥の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 16.5㎡ 4-1号棟 : 4.0㎡ 4-2号棟 : 2.5㎡	
記号・仕様		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	
改修前	改修後				
工程		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-1工法に含む。 参考数量:		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 0.0m	
記号・仕様		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm			
改修前	改修後				
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:			

名称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様		C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前	改修後				
工程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑦の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 3.0㎡		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③一般部分: 16ヶ所 ④指定部分: 25ヶ所 ⑤一般部分: 16ヶ所 ⑥指定部分: 25ヶ所 ⑦一般部分: 16ヶ所 ⑧指定部分: 25ヶ所	
記号・仕様		D-1 モルタル面はつり		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前	改修後				
工程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 14.0㎡ 4-1号棟 : 4.0㎡ 4-2号棟 : 10.0㎡		①一般部分標準グリッド (250×250) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) 参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③狭幅部: 16ヶ所	

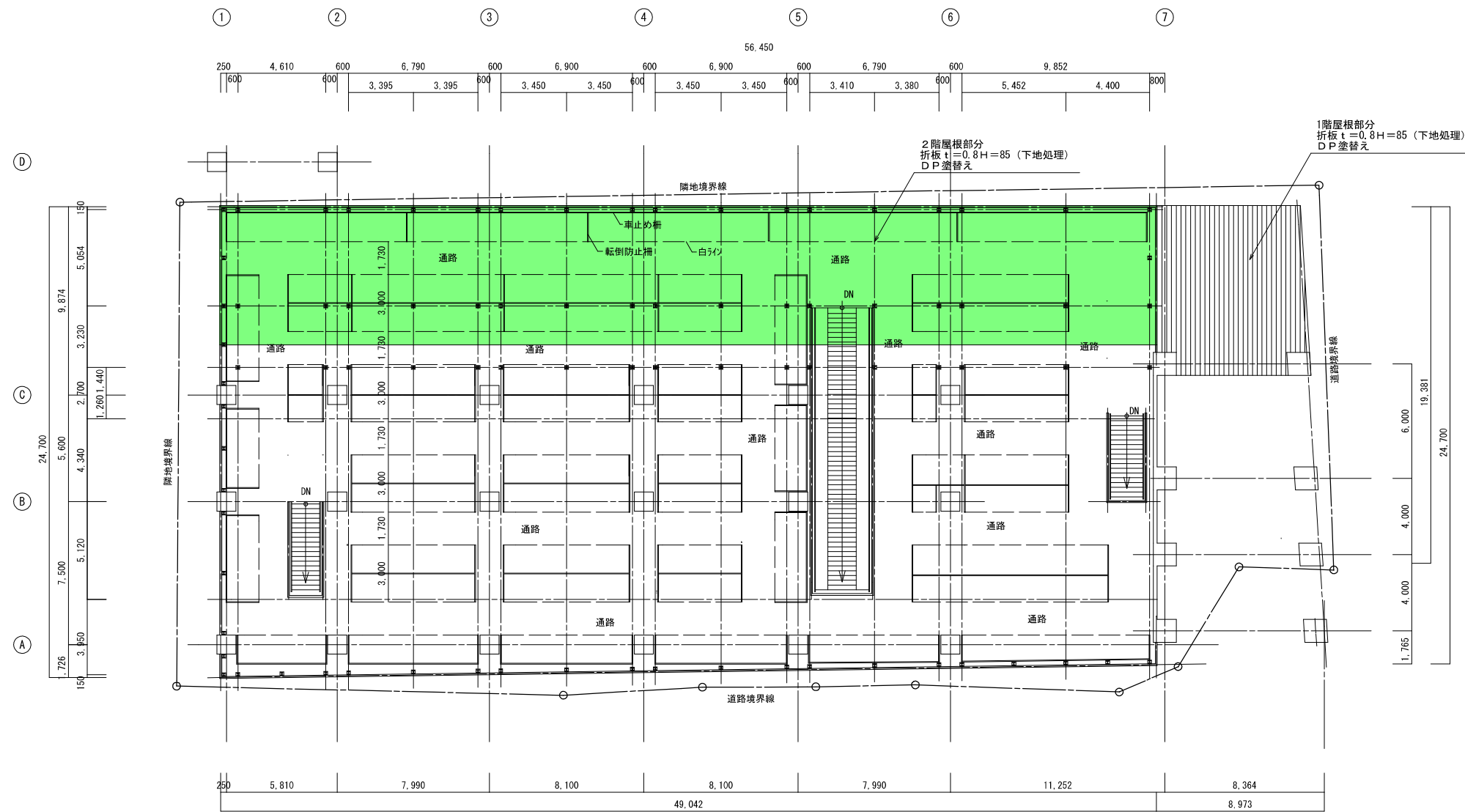
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
		岡田建築設計事務所	CH.	2021.10.		三原駅西駐輪場外壁等改修工事	A / 07	A-2: 100%
			P.L.	DR.		外壁改修工事特記仕様書 (1)		A-3: 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫						A-4: 50%

名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入法 [標仕4.5.13]			
改修前				
改修後				
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) 一般部 9ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>			

名称	E 欠損部処理			
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.4.3]	F 外壁複合改修工法
改修前				
改修後				
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ③欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂パテ又はモルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：</p>		<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂パテ又はモルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：14.0㎡</p>	
工程	<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂パテ又はモルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：12.0㎡</p>		<p>F 外壁複合改修工法 大庇・バルコニーに適用する</p> <p>①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付 (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>*印寸法は80程度とする</p>	
名称				
記号・仕様				
改修前				
改修後				
工程				
参考数量	ネット張り			
	水切り			

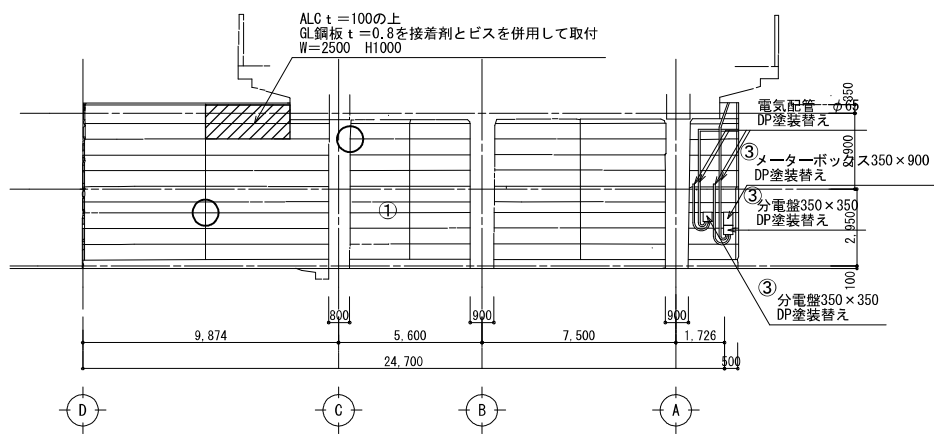
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
		岡田建築設計事務所	CH.	2021.10.		三原駅西駐輪場外壁等改修工事	A / 08	A-2 : 100%
			一級建築士 第102449号 岡田文夫	P.L.	DR.	NAME		A-3 : 71%
						外壁改修工事特記仕様書(2)		



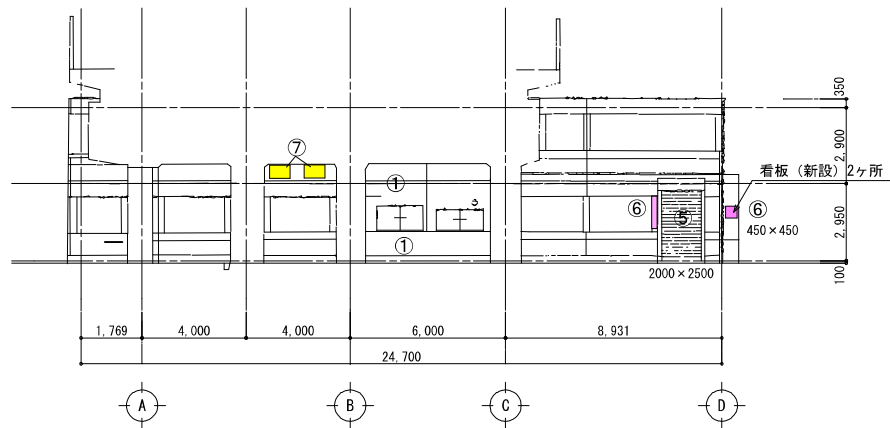


2階平面図 S=1/200

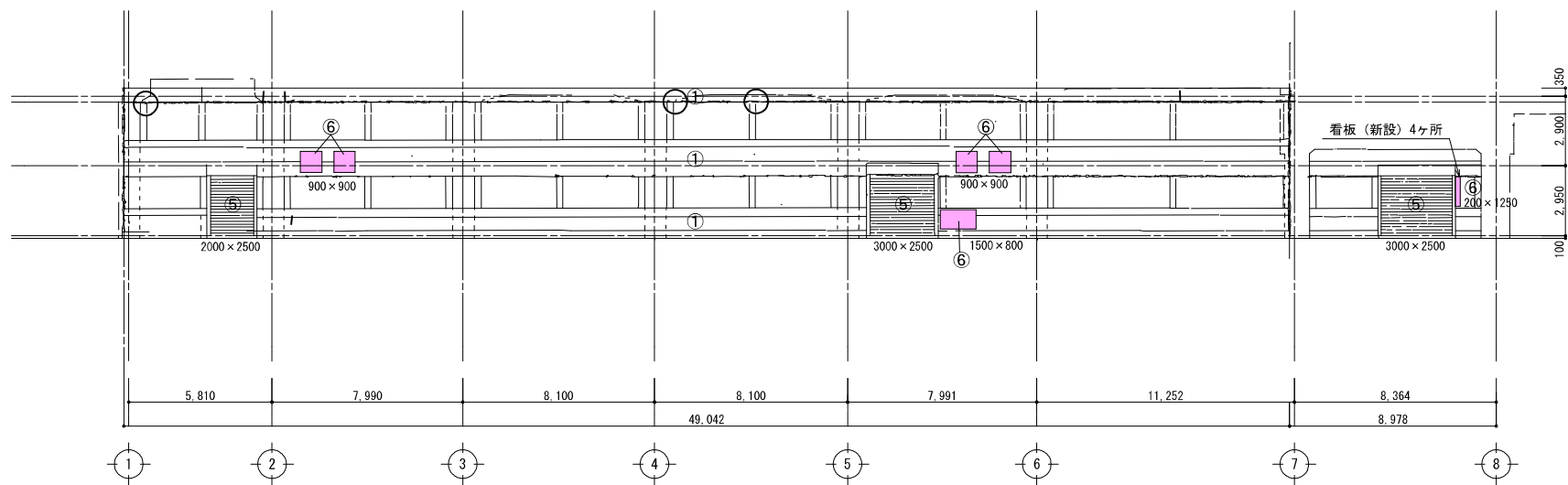
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号 <b>岡田建築設計事務所</b> 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	P.L.				



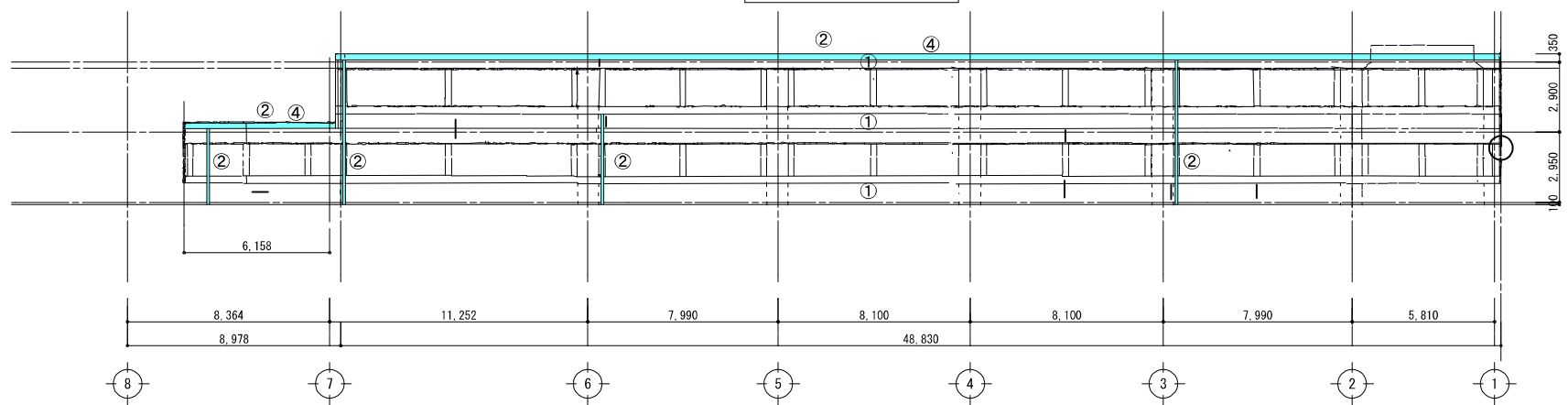
西側立面図 S=1/200



東側立面図 S=1/200



南側立面図 S=1/200



北側立面図 S=1/200

外部改修仕上表

番号	部位	改修前	改修後
①	外壁 シーリング	仕上: ALC下地本タイル吹付(高圧水洗浄) ALCジョイント部シーリング	仕上: 水性シリコン仕上塗り 2回(新設) 縦横目地シーリング打ち増し
②	縦樋 軒樋	塩化ビニールパイプφ100(撤去処分) 塩ビ製V300(撤去処分)	カラーVPφ100に取替、掴み金物共SUS(新設) 塩ビ製V300に取替、掴み金物共SUS(新設)
③	分電盤等	焼付塗装(下地処理)	DP塗装替え(錆止め共)
④	屋根	折板 t=0.8H=85(下地処理)	DP塗装替え(錆止め共)
⑤	シャッター	スラット、ガイドレール、シャッターボックス(下地処理)	DP塗装替え(錆止め共)
⑥	看板類	900×900 6枚は取り外し 他の寸法の看板(撤去処分)、文字描き看板	再取付 アルミ複合板にカットシート貼付け(新設)
⑦	空調室外機	撤去処分 2台	

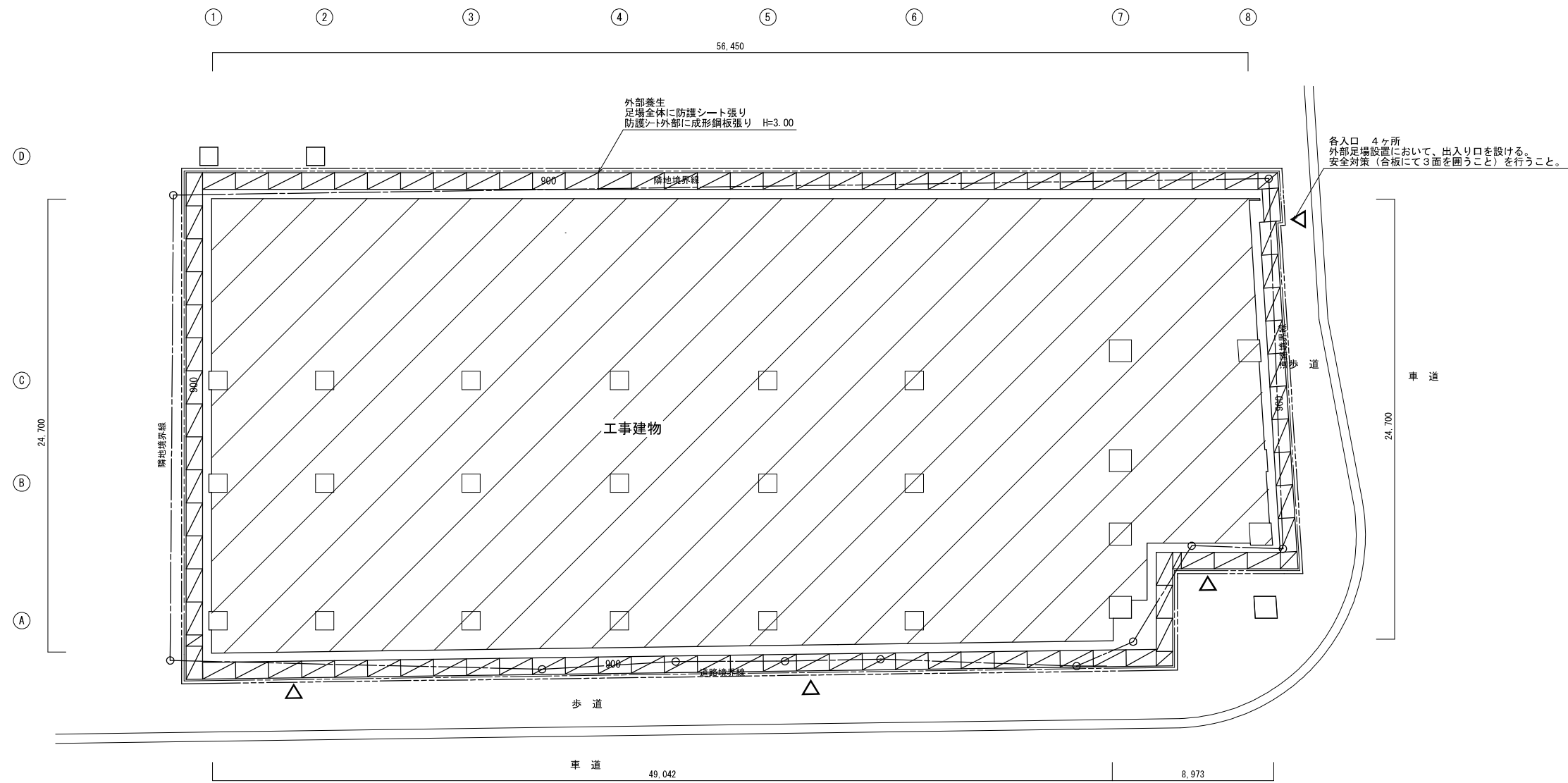
劣化部分調査及び改修工法

符号	劣化状況	改修工法	備考
	ALCヒビ割れ	ヒビ割れ部(0.5~1.0mm)幅10cm程度の吹付材をアスベスト剥離剤工法にて除去し、ひび割れ面をUカットしてシーリングを充填する。	参考数量: 16.0m
○	ALC欠損部	欠損部の廻り10cm程度の吹付材をアスベスト剥離剤工法にて除去し、欠損部の補修を行う。	参考数量: 3.0㎡

※外壁吹付タイルにはアスベストが含まれており、そのアスベストは3層の内2層目に含有しているため剥離剤併用手工具ケレン工法を見込んでいる。

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号 <b>岡田建築設計事務所</b> 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO. CH.	DATE 2021. 10. DR.	SCALE 1/200	TITLE 三原駅西駐輪場外壁等改修工事 NAME 立面図	NO. A 11	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
------	------	--	-----------------	--------------------------	----------------	--	----------------	--





仮設配置図 S=1/200

凡例  
 900 枠組本足場 建地幅900mm、H=建物の高さ以上、メッシュシート張り

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号 <b>岡田 建築設計事務所</b> 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.	DR.	1/200		

## 参考数量書

工事名称 三原駅西駐輪場外壁等改修工事

工事場所 三原市港町一丁目

[工事概要]

用途, 構造, 面積	駐輪場, 鉄骨造 2 階建て, 延べ面積2, 523. 14m <sup>2</sup>	
工事範囲	外壁改修工事, 塗装改修工事	
別途工事	無し	
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和4年3月31日	
一般事項		
《 工事予算内訳 》		
〈内 訳〉		
区分		概要
設計金額		
消費税額		
合計金額		



# 工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		











建築工事 細目別内訳

建築工事		樋・板金工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軒樋	角V300	56.5	m			
副資材	留め・ジョイント等	1	本			
樋受金物	V300 SUS製	94	本			
堅樋 カラーVP100		21	m			
ドレン		4	個			
ソケット		7	個			
エルボ90°		19	個			
Y管 90° 100-50		1	個			
スライドソケット		4	個			
堅樋 配管バンド	φ100 SUS	18	本			
控え金物	L=120	2	本			
控え金物	L=100	12	本			
控え金物	L=80	4	本			
既設樋撤去費	軒樋・堅樋・金具	56.5	m			
資材購入費		1	式			









